

話し合う、つながり合う、笑顔の学校園へ

第26回大阪市教育研究集会

青年、ママ友が主役



竹林さん

第26回教育研究集会

会が10月14日開かれ、青年が全体会、分科会で活躍し、ママ友・子どもが多数参加、1200人が集い大きく成功しました。記念講演は落語家笑福亭竹林さんの「子どもの心に届く話し方」。

「先生方が機嫌よく教室に行けるよう、機嫌のいい社会、生活の安定、平和が大切。9条を守ることは、最初の一步。大阪から維新を追い出そう」と話しました。教材づく

り、ピース・スタディ、音楽、香りの体験、障児教育、共謀罪、絵本の分科会で学びました(以下、感想を掲載)。



全体会での青年の合唱



お楽しみコーナー理科教材



絵本の世界にようこそ

多いのですが、改めて子どもとの接し方を考えたいなと思いました。(25歳)

分科会も全体会も充実した内容でした。分科会は安原さんの「共謀罪と私たちの生活」を聞かせていただきました。

自分たちの生活はたった一つの国のトップによって変わっていく社会になっていく。そんな社会のおかしさに気づき声を上げていく大切を学びました。全体会の竹林さんのお話と落語、とても感動しました。いつも怒って子どもたちに圧力をかけている自分を反省して、しかし、教育全体がそのような社会になっていく現実をどう変えていくか、常に意識をしながら今の社会と闘っていきましょうと思います。(27歳講師)

育全体がそのような社会になっていく現実をどう変えていくか、常に意識をしながら今の社会と闘っていきましょうと思います。(27歳講師)

私たちが楽しく(きげんよく)教壇に立てるようにしたいと思えます。(3年目)

○障害児教育分科会では、大阪の特別支援教育の現状・勤務の現状や今後の支援教育の方向性など

○「全体会」色んなお話を楽しく聞くことができました。子どもたちのかかわり方、話し方を知ることができました。

共謀罪と私たちの生活



をみなさんと共有することができてよかったです。竹林さんのお話はとても楽しく、かつ学校教育にも生かせるものでとてもためになりました。(28歳)

○今まさに自分が子どもに対してどう接しているのか、イタイところをつかれたように思います。と同時に道しるべにもなりました。叱らなくても子どもは育つ、対話とこちらの受信力をきたえたいと思います。(30歳)

野田東大阪市長の写真が掲載されている教育出版道徳教科書の問題視し、6月に市民集会を開催しました(「大阪市教」7月号に掲載)。

東大阪考える会は、3万枚のヒラを駅頭、地域で配布し、「育鵬社教科書を読む会」を開催。「教育委員全員が教育出版以外の小学校道徳教科書を推薦し、育鵬社系の採択が阻止された。大手出版社にもぐりこみ、日本会議を隠しながら、ブランド力を利用して大量に採択させようとした目論見は外れた。これは早くから彼等の狙いを見抜き運動を進めた成果」と松井さんは報告。大阪府内では教

育出版の採択はありませんでした。子どもと教科書大阪ネット21は、①研究者、教職員、保護者、市民が議論する

「ホリデーハンガー」直訳すれば「休日」の飢え。長期の休みに入り、給食がなくならないと子どもが増えることから、英国で使われるようになった言葉です。

第7期第3回マルかじりゼミナルが10月20日行われ、子ども、市民と野党の共闘について青年が語り合いました(以降、感想を掲載)。

仕組み、②採択手順の公開、③教職員の声を反映させる、誰もが教科書を見ることのできる、④採択を審議する教育委員会議員の市民の傍聴を保障することを目指す。大阪市の教は教科書採択制度の改善を市教委に求めていきます。

許さない 教育出版 道徳教科書 東大阪の取組

たんぽぽ だより 11月

今年度は新任の1年目で3年生を担任しています！10月8日の運動会では、当日に体操服忘れた子や、ダンスで使うスカーフをなくしてしまう子など、いろいろありましたが、無事に運動会を終える事ができました。次は11月11日の音楽会に向けてみんなで練習中です。そんな中、教育研究集会で落語家の竹林さんの話を聞き、普段の子どもたちの接し方を改めて考えさせられました。竹林さんの話を聞いてか



ホリデーハンガー 貧困、政治を議論

「今日も、知らない事をたくさん教えてもらいありがとうございませう！怒り、政策一つで自分たちの命に格差が生まれる。いかりです。○子どもと貧困問題では間近に見えていて本心に悲しくなります。お腹いっぱい食べて、毎日元気に学べる社会になってほしいです。そして、青年が大人が政治について、あつく語り

子どもの権利条約 国連レポート学習会
●11月19日(日)13:30
●アネックスパル法円坂

大阪市対策連絡会 議の代表者会議が10月27日開かれ、子どもを貧困から守る取り組み、国民健康保険の「都道府県化」(市町村の減免制度や一般会計からの繰入金廃止のため国保料値上げ)、「総合区

市対連 総合区素案住民説明会 都構想、貧困の取組強化

素案に関する住民説明会(全24区、11月3日~12月23日) 対する取り組みの意思統一を行いました。

「格差再生産 止まるか『進学』の選択 消さぬために 高等教育の私費負担

「生活保護でも大学行きたい」「世帯分離」で家族も本人も

困窮 教育の権利ど

「生活保護でも大学行きたい」「世帯分離」で家族も本人も